

富士見市ニューイヤー・ガラ・コンサート実行委員会では、「富士見市在住のオペラ歌手によるニューイヤー・ガラ・コンサート」を企画し、感動的なコンサートで新年を迎えたいと思います。生活の中に「音楽とともに」のひと時を持つことは、楽しくて感動的なものと思います。このコンサート開催により地域文化芸術交流の発展に少しでも寄与できることを願っております。

出演者プロフィール



東城 弥恵 (ソプラノ)

とうじょう やえ

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学位博士(音楽)。二期会オペラスタジオ修了時、優秀賞受賞。1992年東京文化会館新進音楽家オーディション合格。日伊声楽コンクール、他多数入賞。読売新聞社賞、日伊音楽協会賞受賞。ブッチー二作品演奏にイタリアブッチー二財団より公式感謝状授与。「トスカ」「修道女アンジェリカ」「椿姫」「メリー・ウィドウ」「伯爵令嬢マリツァ」「チャルダッシュの女王」(「音楽の友」年間コンサートベスト選)のタイトルロール、「魔笛」夜の女王、パミーナ、「フィデリオ」マルツェリーネ(さいたま芸術劇場オープニング)、「こもり」ロザリテ、「ラ・ボエーム」ミミ他出演。(公社)日本演奏連盟創立50周年記念オペラ「黒塚」主演、吾妻徳穂監修「源氏物語」六条御息所、日本オペラ協会創立60周年記念・なかにし礼作「静と義経」北条政子、「八犬伝」伏姫、「ミスター・シンデレラ」赤毛の女等で日本オペラにも多数出演。「第九」「スターバト・マーテル」マラー交響曲等のソリスト、2018都民芸術フェスティバル「日本の歌」等リサイタル、コンサート、講演会、日本女子大学 他での後進指導等で幅広く活躍。エッセイ集「LIVE MENU・DAYS」好評発売中。日本演奏連盟会員。日本オペラ協会会員。二期会会員。



後藤 美奈子 (ソプラノ)

ごとう みなこ

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院首席で修了。数多くのオペラを演じて、新聞に批評なども掲載。最近では、地元ふじみ野での後進の指導に力を入れるかたわら、オペラを身近にというコンセプトのトークコンサートは、好評を博している。童謡、唱歌、フォークソング、ゴスペル指導、小・中学生のヴォイストレーニングをはじめ、チャリティコンサートやプロデュースしたりと地域の活動も近年意欲的に取り組んでいる。東京二期会会員。



関 仁美 (ソプラノ)

せき ひとみ

埼玉県出身。東京芸術大学声楽科卒業。第55回全日本学生音楽コンクール高校の部奨励賞。オペラでは「修道女アンジェリカ」に托鉢修道女、オスミナ役で出演。富士見市では矢野誠氏プロデュース「地球のこぼれ」に2012年、2013年、2019年の再演において、ソプラノソリストとして出演。2019年8月に行われた「富士見市それっしやがやってきたコンサート」ではサーカスの娘役で出演。2017年より富士見市文化芸術振興委員として2年間従事した上、ソロ演奏の他に富士見市民音楽祭において、市役所職員合唱団の指導等にも携わっている。これまでに声楽を藤澤佑一、今関智子、青木美稚子、大森園子に指示。富士見市在住。



水野 友貴 (ソプラノ)

みずの ゆき

ふじみ野市立大井中学校卒業。音楽部に所属し合唱演けの毎日を送る。その経験をきっかけに声楽を学び始める。埼玉県立伊奈学園総合高校卒業。東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。同大学院声楽専攻オペラ研究領域修了。大学卒業時、大学主催卒業演奏会、第84回読売新人演奏会に出演。2015年第69回全日本学生音楽コンクール大学の部全国大会第1位、並びに横浜市民賞(聴衆賞)受賞。2018年第48回イタリア声楽コンクールロイヤルティガー国際部門大賞(第1位)受賞。2019年第55回日伊声楽コンクール第3位入賞。2015年から16年にかけて、甲子園ボウル決勝戦(甲子園)、明治神宮球場開幕式(明治神宮球場)、都市対抗野球大会開会式(東京ドーム)にて国歌独唱を務める。2010年より室内合唱団harmonia ensembleの一員として、国内外のコンクールや演奏会(ヨーロッパツアー、世界合唱シンポジウムEto)に出演。その経験を活かして、小学生から高校生の合唱指導もしている。



小林 浩 (テノール)

こばやし ひろし

東京学芸大学卒業。'93年10月ルーマニア国立歌劇場秋のオープニング公演「ラ・ボエーム」のロドルフォに抜擢されヨーロッパデビュー。'94年1月に同国クライオヴァ歌劇場公演「リゴレット」のマントヴァ公爵、3月には再び国立歌劇場に招かれ「仮面舞踏会」のリッカルド、「ランメーモールのルツァ」のエドナルド等を行い、「感性ある歌と演技」と絶賛される。'97年には同国ヤシ国立歌劇場において「トスカ」のカヴァラドッシ、「97年には「トロヴァトーレ」のマントリコ、「蝶々夫人」のピンカトン等々を演じている。その他、イタリアのアッシジ、ローマ等にてリサイタル、国内でも種々のオペラやコンサートに出演。蓮の会ホールオペラ全公演の主役を歌う。'04年 & '06年長野県上田「Cinque Voce in Ueda」に出演。首都オペラ団員。埼玉オペラ協会会員。オペラ・リリカふじみ野所属。



東海林 尚文 (テノール)

しょうじ なおふみ

埼玉県川越市出身。富士見市在住。小学校時代から高校、大学と野球に明け暮れ高校時代には明治大学付属中野八王子高校硬式野球部で副キャプテンを務め西東京大会ベスト16の成績をおさめる。音楽とはまるで無縁の生活を送っていたが、明治大学法学部在学中に3大テナーのコンサートをテレビで見ると衝撃を受ける。その時何故か急に「俺も歌手になりたい」と思い立ち一念発起。ピアノはもとより音符もろくに読めなかったが血のにじむような努力の末、東京芸術大学音楽学部声楽科に入学。年下の同級生と楽しい大学生を送るが、周りの人たちの才能のすごさに自信を無くしてしまう。しかし、卒業後かねてよりの夢であったイタリア・フィレンツェに留学し、そこで素晴らしいマエストロとの出会いがあり音楽の楽しさ、素晴らしさを再び教わる。現在は新国立劇場合唱団メンバーとして新国立のオペラ劇場で歌う一方、地元、富士見市で地域の芸術文化の振興・発展に力を注いでいる。また、コンサートや様々なイベントを企画・運営するコル・カントLLCの代表を務め、イベントを通じて人と人がつながっていく地域コミュニティを作っていく活動も行っている。更にNPO団体「富士見みんなプロジェクト」の代表を務め、いわゆる子ども食堂の運営もしており未来ある子供たちの安心できる地域コミュニティの中での居場所づくりも積極的に取り組んでいます。

Facebookページアドレス
<http://www.facebook.com/colcanto.llc> (コル・カント)
<http://www.facebook.com/fujimi.minpro> (富士見みんなプロジェクト)



二階谷 洋介 (テノール)

にかいたに ようすけ

東京芸術大学卒業。同大学院修了。在学中、松田トシ賞受賞。藝大公演「メサイア」のソリストに選ばれた。読売新人演奏会出演。東京オペラ・プロデュース公演「ドン・ジョヴァンニ」のドン・オッターヴィオ役で本格的オペラデビュー。以来「椿姫」「ロメオとジュリエット」(グノー作曲・日本初演)、「こもり」「トスカ」「リゴレット」「カルメン」「ラ・ボエーム」「メリー・ウィドウ」「魔笛」など数多く出演。新国立劇場二期会共催公演、市川團十郎演出「俊寛」では丹羽少将成程を好演し好評を博した。コンサートではジョン・ミュンフンやパスカル・ヴェイロ指揮の「第九」をはじめ「メサイア」「スタバト・マーテル」、モーツァルト及びヴェルディの「レクイエム」、パッハのカンタータ等のソリストとして、また、プロコフィエ生誕100周年記念演奏会、ラフマニノフ生誕120周年及び没後50周年記念演奏会、新国立劇場バレエ公演ストラヴァンスキー「結婚」のテノール・ソリストなど、ロイヤル音楽にも活躍の場を広げている。豊かな感性に裏付けされた伸びやかな声のある歌唱に定評がある。二期会会員、日伊音楽家協会所属。



伊藤 和広 (バリトン)

いとう かづひろ

東邦音楽大学卒業。伊・エルバ市エウロパ音楽院オペラ専修課程に2年間留学。第35回イタリア声楽コンクール・シエナ部門イタリア大使杯受賞。伊・ベルヴェーリョ国際コンクール入賞。1998年彩の国さいたま芸術劇場「ジャンニ・スキッキ」タイトルロールでデビュー。2000年渋谷公会堂での藤原歌劇団鑑賞教室公演「カルメン」エスカミリーヨで藤原歌劇団に初出演。日本オペラ協会他各種団体で出演を重ねた後、渡伊。2005年ピアチェンツァ市立歌劇場のオーディションに合格。ミラノで、G.ヴェルディ財団主催コンサート、「道化師」トニオ、「ラ・ボエーム」マルチェット等に出演。近年は「ドン・カルロ」「ロドリゴ」、「仮面舞踏会」レナート、「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「シモン・ボッカネグラ」タイトルロール他各種コンサートに出演。現在、東邦音楽大学准教授。藤原歌劇団正団員。日本オペラ協会正会員。第1回彩の国アーティスト受賞。



古澤 利人 (バリトン)

ふるさわ りひと

埼玉県立熊谷高等学校、東京藝術大学声楽科卒業。P.M.Ferraroオペラマスタークラス、二期会オペラ研修所マスタークラス修了。文化庁人材育成オペラ「魔笛」パバゲーノ役、二期会ニューウェーブオペラ「ウリッゼの帰還」時役など数多くのオペラに出演する他、カンタータやミサ曲、レクイエム(モーツァルト、ブラームス、フォーレ)等の宗教曲のソリストを務める。2013年には東宝ミュージカル「レミゼラブル」司教役をはじめ、2016年東京フェスティバル15周年コンサート全国ツアー等、多ジャンルの舞台・コンサートにも出演。近年はスペイン伝統音楽劇であるサルセラを立役として日本初演し、主演を務める。二期会会員。日本サルセラ協会理事。第九ミリオネンプロジェクト代表。ららぽーと富士見ホールチャーター講師。2020年1月31日に東京文化会館小ホールでのリサイタルを開催、3月にはスペイン演奏ツアーに参加予定。



桐山 建志 (ヴァイオリン)

きりやまたけし

長野県出身。3才より才能教育でヴァイオリンを始める。東京芸術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年第12回古楽コンクール(山梨)第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクールソロ部門第1位。2005年、古楽コンクール(山梨)の審査員を務める。2017、18年には全日本学生音楽コンクール全国大会の審査員を務める。2000年秋にリリースしたデビューCD「シャコンヌ」(CAIL-728)は、レコード芸術誌特選盤となる。以後、多数のCDを主にレコーディングよりリリース。2009年、ペーレンライター社より星野宏美氏との共同校訂による「メンデルスゾーン:ヴァイオリン・ソナタ全集」の楽譜を出版。現在、愛知県立芸術大学教授、フェリス学院大学非常勤講師。「エルデーリ弦楽四重奏団」ヴァイオラ奏者。チェンバロの大塚直哉と共にデュオ・ユニット「大江戸パロック」を主宰。



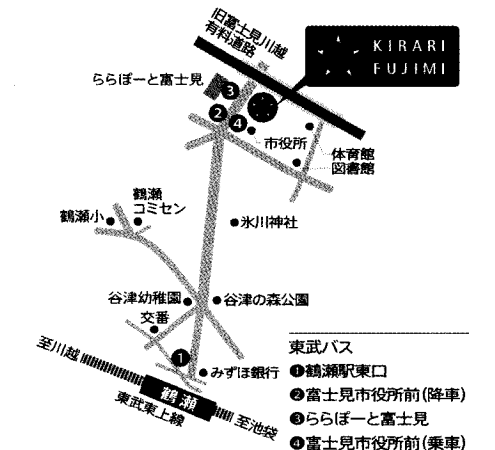
篠宮 久徳 (ピアノ)

しのみや ひさのり

静岡県焼津市出身。東京音楽大学卒業。同大学院修了。在学中特待生奨学金を授与される。ソレ他、コンサート・アカンパニストとしての歌曲、オペラ、器楽の分野に於いて数多くのプロジェクトで研鑽を積む。現在では国内外の歌手とのリサイタル、レコーディング、歌曲初演、コンクール公式ピアニスト等も手掛けている。中田喜直記念コンクールに於いて共演賞(三浦洋一賞)。ロシアウラジオストク国際コンクールに於いて最優秀共演者賞。2017第1回座間歌劇祭日本歌曲コンクール優秀共演者賞受賞。かんだ歌宴、ロシア声楽曲研究会各ピアニスト。

会場案内
富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
 〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬1803番地1
 電話番号 049-268-7788

- 電車 東武東上線「鶴瀬」駅より 徒歩 約25分
- 市内循環バス 約10〜15分「富士見市役所」下車 鶴瀬駅東口バス停より市内循環バスにご乗車ください。バスは鶴瀬駅の隣の「みずほ台」「ふじみ野」駅からも出ています。
- タクシー 鶴瀬駅東口より約8分 詳しくは、HPまで <http://www.kirari-fujimi.com/access/>



詳しくは、HPまで <http://www.kirari-fujimi.com/access/>